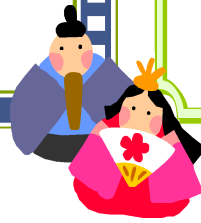


夢

～努力は未来を拓く～

弥富北中学校2年生
学年通信 第21号
2018. 3. 1



自問タイムを終えて

2月19日、20日の2日間、今年も自問清掃の時間に、「継掃会」が実施されました。3年生とともに清掃することで、卒業していく先輩方の自問清掃への取り組みを肌で感じ、新たな気づきが生まれた2日間でした。自問タイムでは、その継掃会での他学年の「わたしの中のわたしが見たい」を読み合いました。

自問タイムの「振り返り」から、いくつか紹介します。

【A組】

- 自問清掃という弥北の文化が、きちんと1年生にも受け継がれていると感じていたのは、わたしだけではなく良かったです。この弥北の文化がなくならないようにしていきたいです。
- これからも、誰が見ていなくても、誰かの手本となるような行動をしていきたいです。

【B組】

- 1年生は、先輩の姿を見て「美しい」と書いている子がいました。わたしはそんな考え方をしたことがなく、1年生は先輩たちの姿をしっかり見ているんだなと感じました。
- 3年生の振り返りを読むと、1、2年生へのアドバイスや清掃するときの視点などがくわしく書かれていて見習いたいと思いました。

【C組】

- ろうかで雑巾をかけているときも、先輩方はスピードがある上に丁寧なので、先輩との差を感じました。
- もうすぐ弥北を背負う最高学年になるので、先輩の姿を思い出しながら、後輩にも刺激を与えられるように自問清掃を続けていきたいです。

【D組】

- 僕が一番驚いたことは、3年生が「継掃会で1、2年生から学ぶことがある」ということです。自分の足りていないところを感じ、後輩からも学べる自分になりたいです。
- 他学年と一緒に清掃しながら、互いの良いところを認め合って、己を高めていくことは必要なことだと思いました。

3年生を送る会

先輩への感謝の気持ちを込めて・・・



学年やクラスで3年生への贈り物を考え、心を込めて披露しました。弥北らしい、心温まる送る会になりました。学級委員たちの感想です。

【A組】

- 送る会の前に学校を欠席したので、自分の担当を、他のクラスの学級委員たちに助けてもらいました。みんなで協力して会を成功させることができ、ほっとしました。次のときには、みんなを助けられるようがんばりたいです。
- 全校生徒の前に立って仕事をするのは初めての経験で、とても緊張しました。スムーズに進めることができ、合唱や企画もしっかりでき、3年生に感謝の気持ちを伝えることができました。

【B組】

- いろいろとハプニングはありましたが、最終的にはみんなで成功させることができました。この行事を通して、成功したときの喜びや達成感を実感することができました。リーダーとしての喜びを改めて感じることができました。
- 準備では、なかなか学級委員がそろわず計画通り行かないこともありましたが、みんなで支え合って何とか本番を迎えることができました。助け合うことで絆も強まったと思うので、残りの任期で自分のできることを最大限に出し切りたいです。

【C組】

- 僕は、3年生を送る会が成功したと思います。なぜなら学級委員がチームワークを発揮して助け合ってやり遂げたからです。僕は、合唱の中でメッセージを伝えました。緊張しましたが、想いを込めて言うことができました。
- 「学年からの贈り物」の一部ではあったものの、自分たちで作り上げたという達成感がありました。何行かの手紙に感謝とエールを込める。そのわたし自身の役目も、学年全体の出し物もやり切ることができて嬉しかったです。その日見た笑顔は忘れません。

【D組】

- お世話になった先輩方に楽しんでもらうために、今までのどの行事よりも入念に取り組みました。この会のために費やしてきた努力や時間の全てが報われた気がして、とても嬉しかったです。
- 各クラスからのメッセージでは、ブロックの特徴を生かして工夫されていたので、楽しんでもらえたと思います。3年生が退場していく姿を見て、ついに私たちが弥北を引っ張っていくときがきたと実感しました。



